

ふりがな 氏名	みずの しょうた	都道府県	愛知県	
	水野 翔太			
所属/肩書	法政大学 1年 / 名古屋わかもの会議代表			
私の ESD活動	環境、生物多様性、政治に関心があり、私たちが どう関心を持って行動に移すべきかを考え、取り 組んでいる			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は 2010 年名古屋市で開かれた COP10(生物多様性条約第 10 回締約国会議)にて当時最年少で実行委員会ボランティアや名古屋市ブース、なごや環境大学ブースの企画・運営を担当。その後、学生という視点で生物多様性や環境問題に取り組んでいくべきだと考え、生物多様性を扱った高校生団体としては全国で初めて、学生環境団体 NEO(Nagoya Environmental Organization)を 2011 年に創設。愛知県や環境省とともに生物多様性に関するイベントを開催。またカナダに本部を置く国連生物多様性条約事務局とパートナーシップ提携を結び、世界に視野を広げた。また、東日本大震災を機に地方のことは地方で決めようというコンセプトのもと「中部エネルギー市民会議」を結成。松原前名古屋市長や清水トヨタ自動車顧問、山本名古屋大学副総長をはじめとする方々とともに最年少で呼びかけ人を務めてきた。他にも、子どもの権利条約フォーラム IN あいちのユース実行委員などを務めた。2013 年より法政大学に進学をし、「僕らの一歩が日本を変える。」という 10 代の政治関心の拡大と 10 代の政治参画の促進を理念とする団体に所属し、高校生と政治家が社会問題を討論するイベントを国会にて開催。また、「模擬選挙」も実施してきた。今夏の参議院選挙に合わせて、未来の有権者に対して、あなたがもし選挙権を持っていたらどの政党に投票をするかという取り組みを YAHOO!JAPAN や模擬選挙推進ネットワークと共同で行い、全国を回り 1 万人から回答を得た。現在「僕らの一歩が日本を変える。」を脱退し、新たに地元名古屋で学生と政治家・有識者が日本の社会問題や東海地方が独自に抱える問題を討論できる「名古屋わかもの会議」を創設し、来年の 3 月 24 日に名古屋のシンボルタワー・テレビ塔で開催することが決定した。また、長野県小布施町で「地方から日本の未来を創造する」をコンセプトに全国の若者が討論する「小布施若者会議」の実行委員を務めている。

- ・名古屋わかもの会議 Facebook: <https://www.facebook.com/pages/名古屋わかもの会議/211646905684314>
- ・小布施若者会議: <http://obuse-conference.jp/>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

ESD の更なる発展にはまず、ESD とはなにか日本で理解を深めることが重要だと感じている。ESD という単語を出しても開催地の名古屋、岡山でさえもそれほど認知されていないのが現状である。また年齢が下がればその傾向は顕著になっているだろう。ESD を発展させ、世界に発信していくためには、次の世代を担う若者たちが、積極的にアクションを起こしていくことが重要であるとともに、それが若者の強みでもあると感じている。自分と同じくらいの世代の人が ESD に取り組み、活躍しているのを見ると、自分も頑張らなくては、ESD ってなんだろうと考える人が少なからず出てくると思う。確かに一気に関心が増えることは考えにくい、その小さな、そして地道な積み重ねが重要であると感じている。私が考える若者の役割は、「若者が未来を考え、実際に行動に移し始めている」ということを周りの大人にアプローチすること。そして、同じ世代の人にもアプローチしていくことである。